

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 2 区分
 【発行日】平成 24 年 8 月 9 日 (2012.8.9)

【公表番号】特表 2011-501230 (P2011-501230A)
 【公表日】平成 23 年 1 月 6 日 (2011.1.6)
 【年通号数】公開・登録公報 2011-001
 【出願番号】特願 2010-530928 (P2010-530928)
 【国際特許分類】

G 1 0 L 19/00 (2006.01)

H 0 4 S 5/02 (2006.01)

【F I】

G 1 0 L 19/00 4 0 0 Z

H 0 4 S 5/02 Z

G 1 0 L 19/00 2 1 3

【手続補正書】
 【提出日】平成 24 年 6 月 20 日 (2012.6.20)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

n 個 (n は整数) の主オーディオオブジェクトと副オーディオオブジェクトがダウンミックスされたダウンミックス信号および前記ダウンミックスによる n 個の残余信号 (residual signal) を含むビットストリームを受信するステップであって、前記 n 個の残余信号は、前記 n 個の主オーディオオブジェクトのそれぞれに対応する、ステップと、

前記残余信号を利用して前記ダウンミックス信号から前記主オーディオオブジェクトと前記副オーディオオブジェクトを復元するステップと

を含み、

前記復元するステップは、

前記 n 個の残余信号のうち、 m 番目 (m は n 以下の整数) の残余信号と、まだ復元されていない主オーディオオブジェクトと副オーディオオブジェクトがダウンミックスされたダウンミックス信号を用いて前記 n 個の主オーディオオブジェクトのうち、前記 m 番目の残余信号に対応する m 番目の主オーディオオブジェクトを復元し、前記 m 番目の主オーディオオブジェクトが復元された後のダウンミックス信号を出力する第 1 ステップと、

前記 n 個の主オーディオオブジェクトの全ておよび前記副オーディオオブジェクトを復元するまで、前記 n 個の残余信号のうち、 $m + 1$ 番目の残余信号と、前記第 1 ステップにより出力されたダウンミックス信号とを用いて前記 n 個の主オーディオオブジェクトのうち、前記 $m + 1$ 番目の残余信号に対応する $m + 1$ 番目の主オーディオオブジェクトを復元し、前記 $m + 1$ 番目の主オーディオオブジェクトが復元された後のダウンミックス信号を出力する過程を順次繰り返す第 2 ステップと

を含むことを特徴とするマルチオブジェクトオーディオ復号化方法。

【請求項 2】

前記 n は 2 であることを特徴とする請求項 1 に記載のマルチオブジェクトオーディオ復号化方法。